

神谷小学校

体験学習の取組

神谷小学校では、40名の児童が「心豊かでたくましく生きぬく子どもの育成」を教育目標に掲げ、様々な体験学習を取り入れながら各種事業に取り組んでいます。その取組をご紹介します。

【春の遠足】

5月29日、高知市に遠足に行ってきました。当日、県西部で大雨洪水警報が発令されるなど、危うい天気になりましたが、出発時刻には雨も上がり、遠足に恵まれた天気となりました。

まず最初は、「わんぱくこうち」の見学でした。5・6年生が修学旅行のため、当日の参加は1年生から4年生まででしたが、4年生を中心としたリーダーが下級生を引き連れ、それぞれの展示施設を見て回りました。その次は、電車乗車体験をしました。「棧橋車庫前」の電停から「はりまや橋」乗り換え、「県庁前」下車という順序で体験しましたが、初めての体験者も多く一番楽しかったという声がたくさん聞かれました。

最後は、県庁前の「木曜市」での買い物体験をしました。一人300円のお小遣いをそれぞれに考えながら買い物をしました。感心させられたことは、買い物の内容が「お花」、「芋天」、「くだもの」だったので、「これはどうするが?」と尋ねると、「これはおかあさん、これはおばあちゃんへ、そしてこれは家族へのお土産です。」と返事が返ってきました。自分のことは、後回しで買い物をしていました。子どもたちのやさしい一面が見られたひとときでした。



お小遣いを持って、「木曜市」で買い物体験

【本川発電所見学会】

6月17日、3・4年生が四国電力本川発電所の見学に行ってきました。

はじめは、エネルギープラザで発電所の種類や仕組み、そして歴史などの話の後に、本川発電所の役割を話していただきました。

この発電所は、夜間や休日の余裕電力で、水を上池にくみ上げておき、電気がもっとも多く使われる昼間に下池へ落として発電する揚水発電所ということで、大きな蓄電池のような役割を果たしており、高知県で使っている電気約100万キロワットに対し61万5千キロワットの出力があるとのことでした。

また、午後には科学実験ショーで、液体窒素にバラの花を入れ凍らせて潰す実験やゴム風船を冷やして液体酸素を作ったり、ドライアイスを作ったりと子どもたちは、科学の不思議さに興味津々のようでした。

この見学会では、多くのスタッフの方々に親切丁寧に説明をしていただき、いの町の産業を知るとともに環境の大切さについても学習することができて、有意義な一日を過ごすことができました。当日は2号機が出力30万キロワットに対し25万キロワットを稼働させており、子どもたちは実際に見学する中で地下発電所の大きさや稼働の音に驚いたようでした。



科学の不思議に興味津々

入札結果のお知らせ (平成20年4月～6月)

入札日	工事名	落札金額(円)	落札業者
5月14日	(教学第12号) 平成20年度いの町立神谷小学校校舎耐震補強工事	15,928,500	(有)森木組
6月19日	(道交第2-9-44-1号) 平成20年度町道南谷2号線道路改良工事	23,415,000	井上重機建設(株)